

令和2年度『障害者対策総合研究開発事業』の事後評価について

1 事後評価の趣旨

事後評価は、研究開発課題等について、研究開発の実施状況、研究開発成果等を明らかにし、今後の研究開発成果等の展開及び事業等の運営の改善に資することを目的として実施します。

2 事後評価委員会

開催日: 令和2年 12 月 17 日、24 日

3 評価委員一覧（◎委員長）

（1）身体・知的等障害分野

氏名	所属 役職
中島 八十一	長野保健医療大学 保健科学部 教授
水間 正澄	医療法人社団輝生会 理事長
◎ 五十嵐 隆	国立成育医療研究センター 理事長
今橋 久美子	国立障害者リハビリテーションセンター 脳機能系障害研究部 主任研究官
大串 幹	兵庫県立リハビリテーション中央病院 院長補佐・診療部長 兼 リハビリテーション科部長
尾島 俊之	浜松医科大学 医学部健康社会医学講座 教授
神宮司 誠也	九州労災病院 副院長
田中 栄	東京大学 大学院医学系研究科 整形外科学 教授
藤谷 順子	国立国際医療研究センター リハビリテーション科 医長
本橋 裕子	国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経科 医長
山内 繁	支援技術開発機構 理事長

（2）精神障害分野

氏名	所属 役職
神庭 重信	九州大学 名誉教授
池淵 恵美	帝京平成大学 大学院臨床心理学研究科 教授
岩田 仲生	藤田医科大学 精神神経科学講座 教授
大野 裕	認知行動療法研修開発センター 理事長

加藤 忠史	順天堂大学医学部精神医学講座 主任教授
加藤 進昌	昭和大学 発達障害医療研究所 所長
武田 雅俊	大阪河崎リハビリテーション大学認知予備力研究センター 研究センター長
中村 純	医療法人社団新光会 不知火クリニック 副院長
長谷川 花	沼津中央病院 診療部長
◎ 樋口 輝彦	日本うつ病センター 名誉理事長
和田 清	埼玉県立精神医療センター 依存症治療研究部長
渡邊 さつき	埼玉医科大学病院 神経精神科・心療内科 講師

(3)神経・筋疾患分野

氏名	所属 役職
中島 八十一	長野保健医療大学 保健科学部 教授
平澤 恵理	順天堂大学大学院医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター 教授
井原 涼子	東京都健康長寿医療センター 脳神経内科 医長
勝野 雅央	名古屋大学大学院 医学系研究科神経内科 教授
西山 和利	北里大学医学部神経内科学 主任教授
◎ 水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター 理事長

(4)感覚器障害分野

氏名	所属 役職
中島 八十一	長野保健医療大学 保健科学部 教授
石川 浩太郎	国立障害者リハビリテーションセンター 第二診療部 第二耳鼻咽喉科医長
加藤 聡	東京大学大学院 医学系研究科眼科学教室 准教授
飯野 ゆき子	東京北医療センター 耳鼻咽喉科/難聴・中耳手術センター 科長/センター長
伊藤 壽一	滋賀県立総合病院研究所 所長
伊福部 達	東京大学 名誉教授 東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員
尾島 俊之	浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座 教授
小林 一女	昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座 教授
永井 春彦	勤医協札幌病院 眼科副科長

中野 泰志	慶応義塾大学 経済学部心理学教室 教授
◎ 福島 邦博	早島クリニック 耳鼻咽喉科皮膚科 理事長 児童発達支援事業 KID`S FIRST
村上 晶	順天堂大学大学院 医学研究科眼科学講座 教授

4 事後評価対象課題

(1)身体・知的等障害分野

代表者	所属	研究開発課題名
青山 朋樹	京都大学	食事評価・労働効率換算表を用いた身体障害者の労働生産性、就労支援創出の研究
中村 仁洋	国立障害者リハビリテーションセンター	BMI 型環境制御装置「B-assist」の障害・疾患横断的な有用性の検討

(2)精神障害分野

代表者	所属	研究開発課題名
尾崎 紀夫	名古屋大学	妊産婦前向きコホート研究の成果を用いた要介入群の同定法と支援策の開発
加藤 隆弘	九州大学	血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用
高橋 英彦	東京医科歯科大学	ギャンブル障害に対するニューロフィードバック法の開発
中込 和幸	国立精神・神経医療研究センター	精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究
太田 晴久	昭和大学	発達障害を有する大学生(中退者、引きこもりを含む)へのショートケアプログラム開発と包括的支援システムの構築
三村 将	慶應義塾大学	慢性抑うつ of の神経生理基盤の解明とその病態に基づいた新規ニューロモデュレーション治療法の開発
大森 哲郎	徳島大学	バイオマーカーを利用したうつ病の層別化と治療計画策定法の立案
柊屋 二郎	東京医科大学	発達障害者の緊急時支援のチーム支援活動に関するマニュアル開発のための研究

(3) 神経・筋疾患分野

代表者	所属	研究開発課題名
青木 正志	東北大学	細胞膜修復や不要蛋白クリアランス機構の破綻をきたす筋疾患におけるメカノセンシングの機序の解明とその評価系の確立および治療法開発
山村 隆	国立精神・神経医療研究センター	筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群に対する診療・研究ネットワークの構築

(4) 感覚器障害分野

代表者	所属	研究開発課題名
小田 浩一	東京女子大学	ロービジョンの患者を対象とした読書困難に関する実態調査と、多様な読書評価を可能にするアプリの開発
肥塚 泉	聖マリアンナ医科大学	慢性めまいの診断法確立とめまい指導の有用性に関する研究
仲泊 聡	理化学研究所	大規模災害時における視覚障害者対応システムの構築に関する研究

5 評価項目

- ① 研究開発達成状況
- ② 研究開発成果
- ③ 実施体制
- ④ 今後の見通し
- ⑤ 事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目
- ⑥ 総合評価

6 総評

本研究事業では、4つの分野(身体・知的等障害、神経・筋疾患、感覚器障害、精神障害)において、①障害者の地域社会での共生の実現や社会的障壁の除去につながる技術開発等の研究、②障害を招く疾患等についての病因・病態の解明、予防、診断、治療法、リハビリテーション法等の先進的・実践的な研究、を推進します。

今回の事後評価対象となった4分野15課題については、「計画を超えて進捗」と評価された課題は3課題、「計画どおりに進捗」と評価された課題は10課題、「計画どおりに進捗していない部分があるが、概ね計画どおりに進捗」と評価された課題は2課題となりました。

(以上)